

JIS Z 8050（安全側面-規格及びその他の仕様書における子どもの安全の指針）について

平成29年6月

経済産業省

産業技術環境局 国際標準課

目次

- 1-1. 日本工業規格（JIS）の概要
- 1-2. JIS（標準化）の役割
2. JISの制定手続き
3. ISO/IEC Guide50(JIS Z8050)の作成経緯
 - ① ISO/IEC Guide50(JIS Z8050)を作成する理由
 - ② ISO/IEC Guide50の国内審議経過、及びJIS Z8050作成の審議経過
4. JIS Z8050の概要
5. 今後の予定

1 - 1. 日本工業規格（JIS）の概要

- 日本工業規格（JIS : Japanese Industrial Standards）は、工業標準化法に基づいて国が定める工業標準。
- JISは、製品の品質向上、取引の単純公正化、消費の合理化等を目的に、製品の形状、寸法、構造、品質などの要素や、生産方法、設計方法、試験検査方法、用語などを規定するもの。
 - ◇ 工業標準化法で定められる手続（JISC※での審議等）に基づいて、主務大臣（経産大臣所管80%以上）によって制定（改正等も含む）される。
 - ◇ JISは任意規格であり、強制法規（医薬品医療機器法、建築基準法等）に引用された場合に強制規格に転じる点に留意。

※JISC：日本工業標準調査会

1-2. JIS (標準化) の役割

- 標準化の役割は、①製品の互換性・インターフェースの整合性の確保、②生産効率の向上、③製品の適切な品質確保、④正確な情報の伝達・相互理解の促進など。
- 加えて、近年では、⑤研究開発による成果の普及、⑥安全・安心の確保（消費者保護、高齢者・障害者・障害者配慮）、⑦環境保護（省エネ、リサイクル等）、⑧企業の競争力の強化、競争環境の整備、⑨貿易の促進などに役割が拡大・変化。

互換性、品質の確保	安心・安全の確保	情報・認識の共有	環境保護	高齢者・障害者への配慮	競争力強化								
	 <p>安全マッチ</p> <table border="1" data-bbox="338 1049 618 1285"> <thead> <tr> <th>電害・損害</th> <th>表示方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険 (Danger)</td> <td> 危険</td> </tr> <tr> <td>警告 (Warning)</td> <td> 警告</td> </tr> <tr> <td>注意 (Caution)</td> <td> 注意</td> </tr> </tbody> </table>	電害・損害	表示方法	危険 (Danger)	危険	警告 (Warning)	警告	注意 (Caution)	注意	 <p>案内所/情報コーナー 絵記号</p>  <p>温泉絵記号</p>	 <p>省エネラベル</p>  <p>鉛フリーはんだ</p>	 <p>シャンプーのギザギザ</p>  <p>牛乳パックの切り欠き</p>	 <p>充電コネクタ</p>  <p>QRコード</p>
電害・損害	表示方法												
危険 (Danger)	危険												
警告 (Warning)	警告												
注意 (Caution)	注意												

2. JISの制定手続き

工業標準化法に基づく手続

